



指導室だより

第 50 号

編集・発行 府中市教育委員会学校教育部指導室
〒183-8703 府中市宮西町 2-24
電話 042-335-4063



秋晴れの快晴に恵まれた10月4・5日、府中市立陸上競技場において府中市立小学校陸上記録会が開かれた。この記録会は、①記録会を通して、各校児童の親睦を図る。②陸上に対する意識を高め、陸上運動向上の一助とする。③指導法の研究の場として活用する、という目標のもと、

◆4日午前の部：府中第三小、府中第四小、本宿小、白糸台小、新町小。
◆5日前の部：府中第二小、府中第五小、府中第七小、府中第九小、小柳小。

◆5日午後の部：府中第六小、府中第十小、矢崎小、若松小、南白糸台小、四谷小。

4日の午前の部では、開会式の中で府中第三小学校平原保校長より、「本日の陸上記録会には、5つの小学校の6年生が参加しています。お互に励まし合って、この大舞台で自分の記録を更新できるように、各種目に力を發揮してください。そのためには、スタートラインに立つまでの自分を振り返ってみましょう。

今日の陸上記録会のために各校で一生懸命に練習を積んできました。目標をもって取り組んできた自分に自信をもちましょう。次に、集中力とリラックスです。出場する種目に集中しましょう。しかし、緊張しすぎると肩に力が入ってしまいます。肩の力を抜いて体をリラックスすることも大切です。最後に、マナーを守って友だちを応援しましょう。友だちの声援は、選手に力を与えてくれます。スタンドにいるときのマナーを守ってしっかりと応援しましょう」という励ましの言葉があつた。

自分の目標の達成を目指して

小学校陸上記録会が開かれる

各ブロックに分かれて行われた。

- ◆4日午前の部：府中第一小、府中第八小、武藏台小、住吉小、新町小。
- ◆5日前の部：府中第二小、府中第五小、府中第七小、府中第九小、小柳小。
- ◆5日午後の部：府中第六小、府中第十小、矢崎小、若松小、南白糸台小、四谷小。



の4種目に分かれ、それぞれ全力を出し切って競技を行った。最後に各学校の代表の選手による学校対抗400Mリレーが行われ、白熱したレースに会場は大盛り上がり終了した。6年生にとっては、素晴らしい競技場で他校の選手と競うことにより自分の目標の記録に挑戦し、大変よい思い出となつた。

新しい教育委員が就任する

府中市教育委員会では、有村久春委員が退任され、平成19年10月1日付で新しく北島章雄委員が就任されました。



北島章雄委員

職名	氏名
委員長	久芳 美恵子
委員長職務代理者	崎山 弘
委員	谷合 隆一
委員	北島 章雄
教育長	新海 功

これに伴い教育委員会の構成は、左記の通りになりました。

指導室だより



郷土に対する愛着と誇りをはぐくむ教育の推進

府中市立府中第七小学校

校長 佐久間 修

1 はじめに

府中市は名前の通り、国府が置かれた武蔵国の中心である。

そのため、地域の土地を掘れば、遺跡が出てきたり、また、甲州街道、鎌倉街道、古戦場に宿場町と奥ゆかしい歴史と伝統の街である。また、多摩川、公園緑地と恵まれた自然や市民のための多くの施設がある。

子どもたちには、これらのことに触れさせ、参加させ、良さを知らせ、自分たちの郷土の発展の一端を担うような力を育てたい。そのためには、「郷土に対する愛着と誇りをはぐくむ教育」を実践して育てていくことが大事である。

2 誰でもできる郷土愛を育てる実践例

③ 地域の祭りへの参加

府中市には、全国的に知られる有名な祭りがある。こうした祭りを見学するだけでも府中市の伝統に触れることができる。

① 武蔵府中郷土カルタ
市内の小学校に在籍する3年

生に武蔵府中郷土カルタが配布されている。内容は少し難しいものの、カルタを楽しみながら府中のことが分かる。また、自分たちで地域のことを調べ、自分たちの郷土カルタを作つてみるのも効果的である。

② 郷土府中に根ざした道徳資料集

府中市に関わる事柄を基に作られた道徳教材である。府中市に生きる人々やその功績、自然も知ることができる。地域に誇りがもてる教材である。他にもこの資料集に扱われていない人物や事柄もたくさんある。そういうことを発掘して取り扱うこともよい。

3 郷土愛を育てる実践例

③ 地域の祭りへの参加

府中市には、全国的に知られる有名な祭りがある。こうした祭りを見学するだけでも府中市の伝統に触れることができる。

① 府中を知ろうキャンペーン
府中市以外に住む人に府中市のように話をせる子どもに育つほしいと願うが、「灯台下暗し」で、身近な地域のことを知らないという実態がある。

人を呼んで話を聞いたり、お隣子の体験をすることもよい。

④ 地域施設等の活用

市内には、美術館、郷土の森博物館、芸術劇場、スポーツ関連施設、公園緑地など充実した施設が数多くある。これらは市民の生活や文化の向上のためにあり、他市には類のない恵まれた施設である。また、これらの施設は職員だけでなく、市民ボランティアの力によって運営されている。このような場所の見学や体験学習は、施設の素晴らしさだけでなく府中市民の豊かさを感じることができる。

② 郷土府中に根ざした道徳資料集の活用

昨年度、卒業生に對して「郷土府中に根ざした道徳資料集」を活用して、道徳の授業を行った。「奉仕する喜び」を主題として、「武蔵野新田を救った川崎平右衛門」の資料を扱った。

平右衛門は、江戸時代に農民を救い、社会に貢献した郷土の偉人である。資料集には、平右衛門の考え方、努力、功績が分かりやすく書かれ、読んでいて清々しくなる内容である。卒業生たちは、平右衛門の功績を知るとともに、自己の体験等を発表し、主題に迫ることができた。



郷土の森博物館 「旧府中町役場」

そこで、府中市で生まれ育った子どもたちに府中市のこと

知ってほしいと思い、本校では、「府中市のことを探る」というキャンペーンを実施した。

まず、全校朝会で、武蔵府中

郷土カルタから20項目の言葉をあげ、そのうち10項目暗記した土学習をしている3年生以上。すると、話した当日から子どもたちが校長室に集まってきた。

10項目暗記した人を合格として、励みに賞状も出した。キャン

ペーン期間中（一ヶ月間）に全校児童の約3割（3年生以上では約5割）が合格できた。

② 郷土府中に根ざした道徳資料集の活用

昨年度、卒業生に對して「郷

土府中に根ざした道徳資料集」を活用して、道徳の授業を行った。そのためには、府中市の学校の先生たちが郷土府中を愛し、実践していくことが大切である。

府中市は、歴史や伝統があり、府中っ子は、強い郷土愛や誇りをもっている。しかし、人口が

増加し、外部からの住民が増えることにより郷土意識も低下しつつある。まして中心部ならると、郷土府中という意識を育んでいくくなってきた。

しかしながら、地域の中で助け合い、

思い合い、地域への所属感、連帯感をもち、良さを見つけることによって、郷土愛や誇りをもてるようになる。

4 おわりに

府中市は、歴史や伝統があり、府中っ子は、強い郷土愛や誇りをもっている。しかし、人口が増加し、外部からの住民が増えることにより郷土意識も低下しつつある。まして中心部ならると、郷土府中という意識を育んでいくくなってきた。しかし、地域の中で助け合い、思い合い、地域への所属感、連帯感をもち、良さを見つけることによって、郷土愛や誇りをもてるようになる。

社会的な見方・考え方を育てる社会科學習

府中市立小中学校教育研究会 小学校社会科研究部一

府中市立小中学校教育研究会 小学校社会科研究部では、今年度の研究主題を「社会的な見方・考え方を育てる社会科學習」社会的な見方・考え方を深める教材や学習活動を通して」として研究に取り組んでいる。

そこで、10月10日、府中市立武藏台小学校において定例の研究会があり、講師を招聘して授業研究・研究協議会が行われた。

◆授業研究

○指導者 坂本貴史教諭

1 小単元の目標

伊能忠敬の日本地図や歌川広重の浮世絵、近松門左衛門の歌舞伎などを調べ、新しい学問が発達したり、浮世絵や歌舞伎という町人文化が栄えたりしたことを捉える。

2 小単元設定の理由

この小単元は、学習指導要領の(1)「我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや

代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えようとするとともに、自分たちの生活の歴史的な背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようとする。」の内容を受けて、町人文化が栄え、新しい学問が起ったことを捉えるように設定した。

3 研究テーマとの関連

○社会的な見方・考え方を育てるための手立て

- ①教材の工夫
- 伊能忠敬を中心的に取り上げて学習する。その理由は、教材が日本地図というなじみのあるものであること
- 現在の日本地図・伊能図・伊能図以前の日本地図を比較することで、伊能忠敬の業績が視覚的に分かること
- 50歳を超えてから学問を始めたり、正確に歩測できるよう

- て学習する。伊能忠敬を中心的に取り上げて学習する。その理由は、教材が日本地図といふなじみのあるものであること
- 調べ考へる学習問題作りのための歩測体験を取り入れた。
- 正確な測量をするために伊能忠敬が苦労したことを探り入れた。
- 江戸時代に日本地図を作った伊能忠敬の業績や苦労に大変興味関心をもって大変意欲的に学習に取り組んでいた。

4 指導の実際

○自分の歩幅を確認し、屋上の

ソードが豊富であること

○講評

見方・考え方を育てる」と設定していることはと



5 研究協議会

見方・考え方を育てる」と設定していることはと



伊能忠敬に思いを馳せ、歩測体験をする

◆1回目と同じ数値にならないためか、何回も測る子どももいた。

◆歩測の回数を忘れないようにと、真剣な表情の子どもが多かった。

○歩測結果を発表する。

○歩測体験から感想を発表する。

は甲州街道を通り、府中から江戸へ向かっていることが、「測量日記」にも出てくる。「伊能忠敬が私たちの府中も通ったんだ」と投げかけられ、子どものようにして日本地図が違っていた。が違う。伊能忠敬はどのようにして日本地図を作ったのか』

○予想を発表する。

・分度器のような道具を使つたのではないか。

・自分の記録と仲間の記録の平均を出したのではないか。

・次時の予告

◆江戸時代に日本地図を作った伊能忠敬の業績や苦労に大変興味関心をもって大変意欲的に学習に取り組んでいた。

「伊能忠敬」は空間・時間・共感の総合的なよい教材である。

伊能忠敬は私たちの府中も通つたんだ」と投げかけられ、子どものようにして日本地図を作るとおもしろい。

伊能忠敬の教材を作るところである。社会科研究部で府中独りの教材を作るところである。

見方ができるか押さえることが大切である。

空間的な見方ができるか、時間的な見方ができるか押さえることが大切である。

ても重要なことである。

それを育てる切り口としては、

本校と第七中学校は、平成15年度から2年間、「学力定着」を副題として、共に手を携えて研究を進めてきた。研究の最中は、その成果を十分には共有できなかつた面がある。

しかし、「継続は力なり」である。確実に、子どもたちには身に付いてきていて、この実践が本校の特色ある教育活動として根付いている。

小・中連携教育の実践は、翌年からコミュニケーション力を高める「英語活動」に絞った形で継続され、2年間に渡ってさらなる深化を図つた。

そして、本年度からは、英語で培つたコミュニケーション力を生かした「聞く・話す」日本語力を育てる研究へと発展している。

一 9年間を見通した 教育実践

学習は、積み上げである。作成したカリキュラムを、独自に精選・重点化等の改善を重ね、9年間を見通した実践を心がけてきた。ここでは、基礎・基本を定着させるために全学年で取り組んだ内容を紹介したい。

①「国語科」では、授業開始5分間を音読・暗唱を通して名文に触れさせること。音読の力

英語活動も、小・中連携教育の研究を契機にスタートした活動である。週に1時間の活動で、このメリットは、少人数指導でクラスが分かれても、指導担当が替わつても困惑することがない。短時間だが、計算が速く正確になつてきた。

ノート指導は、家庭学習でも生かせるよう具体的に示し、子どもなりの思考プロセスが分かる工夫もできるなど、貫した指導の効果が学力向上の面に表れている。

③「社会科や総合的な学習の時間」では、地域教材を取り上げ、直接体験や現地調査活動を重視したカリキュラムを系統的に位置づけたことである。

例えば、低・中学年で取り組む裏山の探検では、学年が進むにつれ、関心が深まり、課題設定・解決の仕方が多様になるよう、活動場面や内容を変えた



わが校の特色ある教育 NO. 16

小・中連携教育の実践を契機に

府中市立武藏台小学校
副校长 若山 芳子



は、読解力・語彙力に繋がる。何よりも本好きの子どもが増え、自分の考えをまとめて話したり書いたりすることにも抵抗感をもたない子どもが育っている。

②「算数科」では、毎時間、既習事項の復習・ミニテストの実施。思考プロセスが分かるノート指導の徹底。このメリットは、少人数指導でクラスが分かれても、指導担当が替わつても困惑することがない。短時間だが、計算が速く正確になつてきた。

ヒヤリング力・正しい発音のシヨンの楽しさ等をたっぷりと味わっている。

英語活動も、小・中連携教育の研究を契機にスタートした活動である。週に1時間の活動で、このメリットは、少人数指導で立つコミュニケーションの楽しさ等をたっぷりと味わっている。

力は、一年生から英語を耳にすることによって自然に身に付く。また、たくさんの人の交流の中で、互いに違いを認め、思いやつて接することも身に付けている。

ここで特筆すべき事は、子どもが大勢の前で話すこと、発表することに積極的になつたことである。高学年になると、間違いを恐れたり恥ずかしさが先に立つてしまいがちだが、臆することなく自分の考えを述べることができるのである。この力は、日本人に求められる資質の一つであり、まさに英語活動の成果と言える。

今後も、こうした継続性のある実践を着実に積み上げ、子どもが楽しみながら学び、そして、確かな学力も身に付く教育活動をさらに工夫していきたい。

時間」では、地域教材を取り上げ、直接体験や現地調査活動を重視したカリキュラムを系統的に位置づけたことである。

例えば、低・中学年で取り組む裏山の探検では、学年が進むにつれ、関心が深まり、課題設定・解決の仕方が多様になるよう、活動場面や内容を変えた

とはいえ、目標とする

日本語科で『考えたことを自分の言葉で表現し、伝え合う子どもに』の研究に取り組むことにした。そして、①聞く・話す・到達目標の設定 ②音読・暗唱の継続 ③スピーチ力・プレゼンテーション力の育成、等に力を入れることで『言葉の力』の育成を図っている。

中っ子の育成』である。積

生きた教科書そのものになつている。

二 英語活動の充実

英語活動も、小・中連携教育の研究を契機にスタートした活動である。週に1時間の活動で、

わし仲良くできる子どもの育成が求められているのである。

本年度本校では、英語活動を生かしつつ、「良い聞き手が、良い話し手を育てる」と考えて、国語科で『考えたことを自分の言葉で表現し、伝え合う子どもに』の研究に取り組むことにした。そして、①聞く・話す・到達目標の設定 ②音読・暗唱の継続 ③スピーチ力・プレゼンテーション力の育成、等に力を入れることで『言葉の力』の育成を図っている。

とはいえ、目標とする

日本語科で『考えたことを自分の言葉で表現し、伝え合う子どもに』の研究に取り組むことにした。そして、①聞く・話す・到達目標の設定 ②音読・暗唱の継続 ③スピーチ力・プレゼンテーション力の育成、等に力を入れることで『言葉の力』の育成を図っている。

中っ子の育成』である。積

11月研修会・委員会等予定	日曜	研修会・委員会等	会場	研修内容等
	3 土	府中の教育を語る会	生涯学習センター	テーマ「キャリア教育 職場体験学習がもたらしたもの」
	5 月	生活指導主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項) 小・中分科会
	5 月	特別支援学級代表者会	教育センター	代表者会・分科会
	12 月	進路指導主任会	教育センター	全体会・協議
	12 月	中学校社会科副読本編集委員会	教育センター	各分担による原稿執筆等
	13 火	初任者等研修会	府中第五小学校	初任者による授業研究・研究協議
	13 火	教育課題検討委員会	教育センター	全体会・協議
	19 月	小学校社会科副読本編集委員会	教育センター	各分担による原稿執筆等
	26 月	主幹研修会	教育センター	全体会・協議会・講演
	26 月	ICT活用推進委員会	府中第四中学校	授業研究・協議会
	29 木	教務主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項) 小・中分科会
30 金	小学校英語活動推進委員会	住吉小学校	授業研究・協議会	

今の子どもたちには、「科学」という言葉はどのように響くのだろうか。少し古いデータになるが、1999年日本青少年研究所が発表した『中学生・高校生の21世紀の夢に関する調査』では、「科学の進歩で、人類は幸福になる」と答えた中高生は、全体の35・4%であつた。調査を実施した4ヶ国の中でも最も低く、一番高い割合を示した中国の84・3%とは大きな開きが見られた。

中央教育審議会の教育課程部会でも、教育課程部会でも、「国民の科学に対する関心が低い」とから理科教育については生涯にわたって、科学に関心を持ち続けられるようにする」ことが指摘されている。科学という言葉からは、かつてのような科学に関心をもつてなく輝きは失われ、もはや人々は科学になってしまったのだろうか。

市東京学芸大学を開催された「青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井」である。八余りあるブースは、どこも人で溢れ大変な盛況ぶりであった。実験に夢中になつている子どもたちや、担当者の説明に熱心に耳を傾ける親子の姿が大変印象的であった。科学の奥深さを体験したり、最先端の技術に触れたりすることは、子どものみならず大人をもわくわくした気分にさせる。

日本では、科学は「理科」で学ぶ内容である。子どもたちは理科という教科を通して、科学の論理性や、問題を追究し解決する楽しさを学んでいるのである。次の学習指導要領の改訂に向けて、理科では「言葉の重視と体験の充実」が求められている。児童・生徒が目を輝かして取り組むような観察・実験などの体験活動をより一層充実させることにより、子どもたち一人一人の「科学の心」を伸ばしていくものである。



そう思っていた一方で、科学に対する関心の高まりを感じる機会があった。

去る9月9日(日)、小金井

待ち望んだ新中央図書館

府中市立図書館
館長 柏木 あさ子

新中央図書館は、12月1日(土)午後2時、市民会館との複合施設として、「ルミエール府中」の3階から5階に多摩地区随一の規模で新たに誕生する。

府中公園と桜通りの緑に囲ま

れたゆったりとした読書空間に、

貸出冊数を図書一人10冊に拡大

し、夜は10時まで開館する。

読書に学習に、使い勝手がよく、

生活に役立つ図書館となる。

ICタグを活用し、貸出や予約の受取りが便利になる他、

ホームページからの予約に加え、

携帯電話や館内利用者端末から

の予約が可能となる。自動貸出機やインターネット端末が設置され、「未来の府中を構築する情報拠点」が誕生する。

また、各階にレファレンスカウンターを設置し、調査研究の手助けや、子どもの読書相談を

専門に応じる体制が整っている。

子ども室は、調べ学習や、絵

本の読み聞かせ、朝読書に対応

する図書を更に充実させ、YA

(ヤングアダルト)コーナーは、

欄を設定し、教育委員会事務局

の情報を提供することになりま

した。(横山洋)

と感じる図書が並んでいる。新中央図書館は、学校や地域の方々との連携を深めながら府中の子どもたちの読書を推進する拠点になると考えている。

事務局の窓

新中央図書館は、12月1日(土)午後2時、市民会館との複合施設として、「ルミエール府中」の3階から5階に多摩地区随一の規模で新たに誕生する。

府中公園と桜通りの緑に囲ま

れたゆったりとした読書空間に、

貸出冊数を図書一人10冊に拡大

し、夜は10時まで開館する。

読書に学習に、使い勝手がよく、

生活に役立つ図書館となる。

ICタグを活用し、貸出や予約の受取りが便利になる他、

ホームページからの予約に加え、

携帯電話や館内利用者端末から

の予約が可能となる。自動貸出機やインターネット端末が設置され、「未来の府中を構築する情報拠点」が誕生する。

また、各階にレファレンスカ

ウンターを設置し、調査研究の

手助けや、子どもの読書相談を

専門に応じる体制が整っている。

子ども室は、調べ学習や、絵

本の読み聞かせ、朝読書に対応

する図書を更に充実させ、YA

(ヤングアダルト)コーナーは、

欄を設定し、教育委員会事務局

の情報を提供することになりま

した。(横山洋)

◆今月号より「事務局の窓」の欄を設定し、教育委員会事務局の情報を提供することになりました。(横山洋)

(指導主事 長井 満敏)

中高生たちが「読んでみたい」

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆